RSU　リヤサスペンション

作業上の注意 2
・注意 2
準備品 3
・特殊工具 3
リヤサスペンション ASSY 4
・構成図 4
・車載上の点検、整備 5
・ホイールアライメント 5
コイルスプリング及びストラット 7
・取り外し、取り付け 7
・分解、組み立て 7
フロントパラレルリンク 9
・取り外し、取り付け 9
リヤパラレルリンク 10
・取り外し、取り付け 10
ラジアスロッド 11
・取り外し、取り付け 11
リヤサスペンションメンバー 12
・取り外し、取り付け 12
サービスデータ 13
・ホイールアライメント 13
・締付トルク 13

作業上の注意

PFP:00001

注意

JES000JG

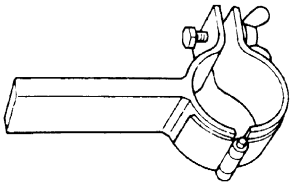
- ブッシュ類の最終締め付けは、車両接地後、空車状態で行う。またオイルの付着はブッシュ類の耐久性を低下させるので必ず拭きとること。
- 空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油が運行に必要な整備をした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておくこと。
- サスペンション部品を整備したときは、必ずホイールアライメントを点検すること。
- カシメナットは再使用不可部品のため、取り付け時に新品と交換する。また、新品時には油が塗布してあるが、その油が付いた状態で締め付けを行うこと。

準備品

PFP:00002

特殊工具

JES000JH

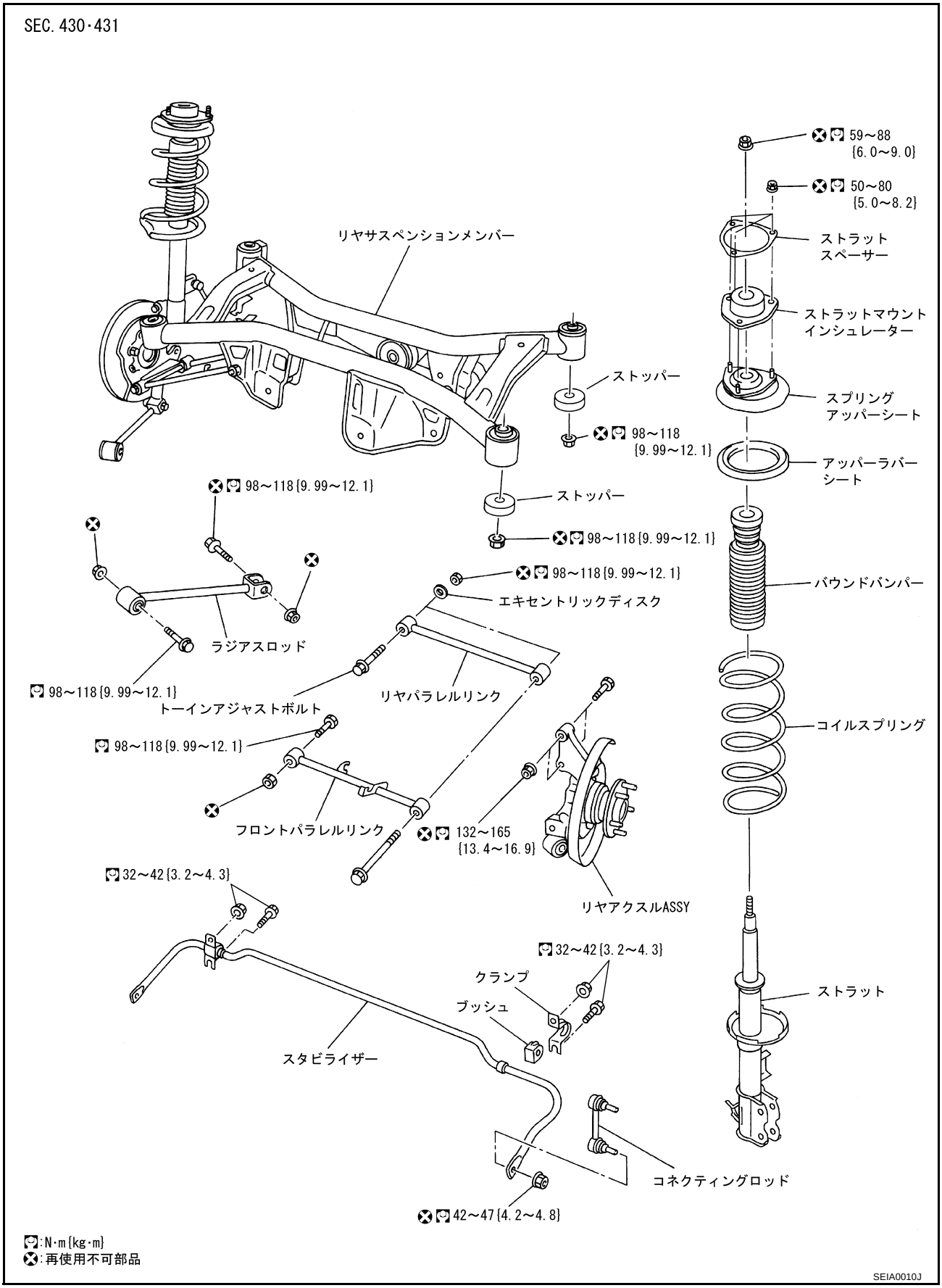
名称		用途
ストラットアタッチメント ST3565 2000	 ZZA0807D	**ストラット分解、組み立て**

リヤサスペンション ASSY

PFP:55020

構成図

JES000JI



車載上の点検、整備

JES000JJ

アクスルやサスペンション部品に異常な遊び、摩耗や損傷がないかを点検する。

- リヤホイール（左右）を動かし、異常な遊びがないかを点検する。
- 全てのナットとボルトを規定トルクで再度締め付ける。
- ストラットのオイル漏れや損傷を点検する。

ホイールアライメント

JES000JK

概要

- ホイールアライメントは、空車状態で測定する。空車状態とは、燃料満載、冷却水及び潤滑油は、規定量まで充てんした状態である。ただし、スペアタイヤ、ジャッキ、車載工具は、車両より降ろした状態にしておく。

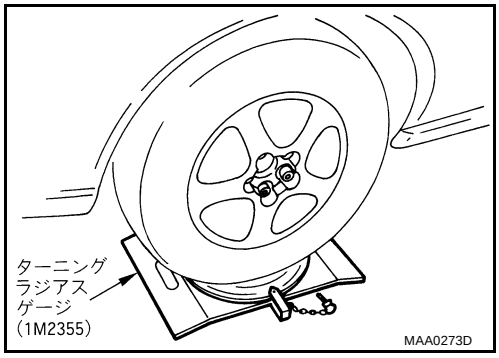
作業前点検

1. タイヤの空気圧及び摩耗を点検する。
2. ロードホイールの振れを点検する。
3. ホイールベアリングの軸方向エンドプレーを点検する。
4. ストラットの作動状態を点検する。
5. アクスル及びサスペンション各取付部に緩み、変形がないか点検する。
6. 各リンク、アームに損傷、き裂、変形等がないか点検する。
7. 車両姿勢は正常か点検する。

キャンバー点検

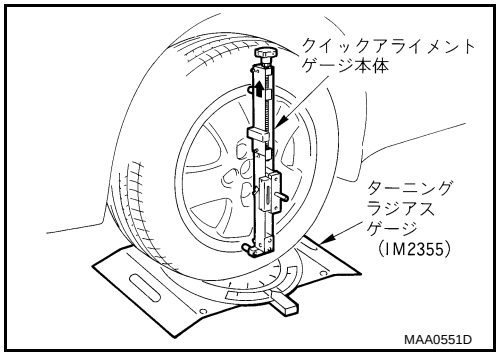
参考：
- リヤアライメント点検はクイックアライメントゲージを用いれば正確に短時間で点検ができる。
- クイックアライメントゲージの詳しい取扱要領については、取扱説明書を参照のこと。

1. ターニングラジアスゲージに後輪を乗せ、前輪はターニングラジアスゲージと同じ高さの台に載せて車両を水平にする。



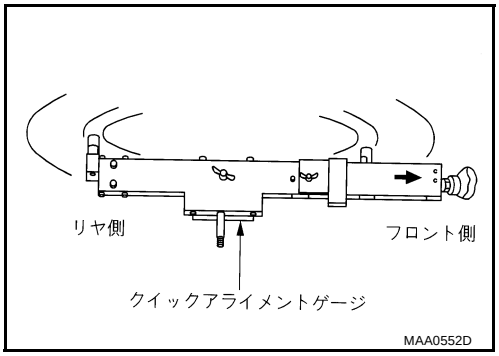
2. クイックアライメントゲージ本体を図の様に矢印ステッカーが上を向くように床面に対して垂直にセットして測定する。

キャンバー　：－ 0°40′± 45′



トーイン点検

1. クイックアライメントゲージ本体を定盤の上に置き、治具ブロックを使ってトー角測定用水準器を 0 ° に調整する。
2. 測定輪にクイックアライメントゲージ本体の矢印ステッカーが直進方向に向くようにセットする。
3. 測定部位の前輪ホイールナットの中で中心線に近いものを 1 個外し、ハブボルトアダプターをセットする。



4. 連結バーを車両にセットする。

   注意： 連結バーと車両が平行になるように、トレッドを考慮し、A,B の距離を調整すること。

5. クイックアライメントゲージ本体を車両から取り外し、定盤の上に置き測定を行い測定値を下記換算式において正規の値に変換する。

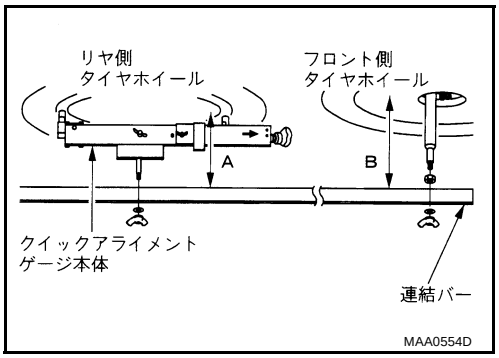
   Sin {測定値　注) (10 進法)} ×タイヤ外径 (mm) ＝トーイン (mm)

   注）ここでの測定値とは左右輪の測定値の和を示す。

   計算例

   測定値 0 ° 30 ′ （0.5 ° ）タイヤ外径 600mm の場合

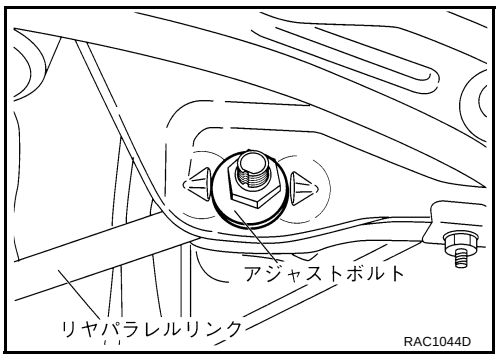
   Sin0.5 × 600 ＝ 5.2mm



トーイン（mm）　　：イン 2 ～ 0

6. 測定値が基準値を外れる場合は、リヤパラレルリンクのアジャストボルトで調整する。

   注意： アジャストボルトを調整する場合は、左右同量に行うこと。



コイルスプリング及びストラット

PFP:55302

取り外し、取り付け

JES000JL

取り外し

1. タイヤを取り外す。
2. ブレーキホースのロックプレートを外し、ブレーキホースをストラットより取り外す。
3. スタビライザーコネクティングロッド上側の取付ナット、ワッシャーを取り外す。
4. ストラットとアクスルハウジングの取付ボルト及びナットを取り外す。
5. ラッゲッジルーム内にあるラッゲッジサイドロアフィニッシャーを外しストラット上側取付ナットを外し、ストラットを車両より取り外す。

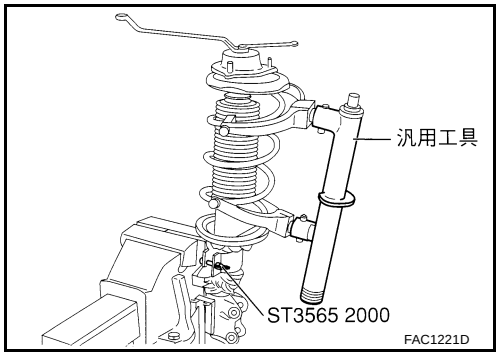
取り付け

- 各締付トルク等については「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

分解、組み立て

JES000JM

分解



1. ストラットにストラットアタッチメント（特殊工具）を取り付け万力で固定する。

   注意： ストラットアタッチメント（特殊工具）を取り付けるときは、傷を付けないようストラットにウエス等を巻いておくこと。

2. キャップを外し、ピストンロッドロックナットを少し緩める。

   注意： ピストンロッドロックナットは完全に外さないこと。外してしまうとコイルスプリングが弾けて危険である。

3. スプリングコンプレッサー（汎用工具）を用いて、コイルスプリングを圧縮する。

   注意： コイルスプリングにスプリングコンプレッサー（汎用工具）が確実に取り付けられていることを確認してから、コイルスプリングの圧縮を行うこと。

4. 手順 3 の状態から、アッパーシート及びロアシートの間でコイルスプリングがフリーになっていることを確認し、ピストンロッドロックナットを取り外す。
5. ストラット小部品を取り外す。
   - ストラットスペーサー、ストラットマウンティングシール、ストラットマウントインシュレーター、スプリングアッパーシート、アッパーラバーシート、バウンドバンパーを外し、コイルスプリングをストラットより取り外す。
6. スプリングコンプレッサー（汎用工具）を徐々に緩め、コイルスプリングを取り外す。

分解後の点検

ストラット

- ストラットに変形、き裂、損傷がないか点検し、異常がある場合は交換する。
- ピストンロッドに損傷、偏摩耗、曲がりがないか点検し、異常がある場合はストラットを交換する。
- 溶接部やシール部よりオイル漏れがないか点検し、異常がある場合は交換する。

ブッシュ

- ブッシュにき裂、損傷がないか点検し、異常がある場合は交換する。

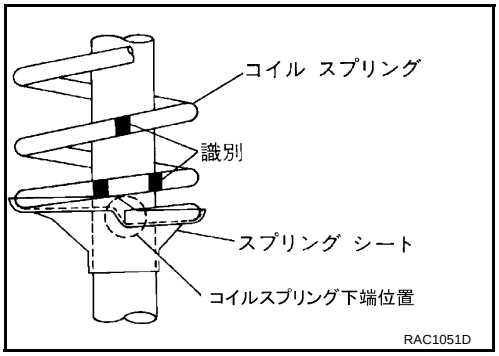
コイルスプリング

- **コイルスプリングにき裂、変形、損傷がないか点検し、異常がある場合は交換する。**

組み立て

1. **スプリングコンプレッサー（汎用工具）を用いて、コイルスプリングを圧縮し、ストラットへセットする。**

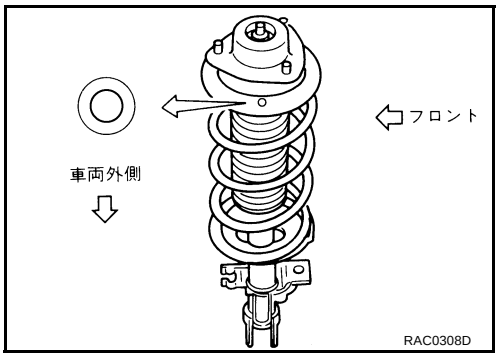
   注意：
   - **コイルスプリングに付いている識別ペイント側を下側にし、下端をストラットのスプリングシートの図位置に合わせること。**
   - **コイルスプリングにスプリングコンプレッサー（汎用工具）が確実に取り付けられていることを確認してから、コイルスプリングの圧縮を行うこと。**



2. **ストラット小部品を取り付ける。**
   - **バウンドバンパー、アッパーラバーシート、スプリングアッパーシート、ストラットマウントインシュレーター、ストラットマウンティングシール、ストラットスペーサーを取り付け、ピストンロッドロックナットを仮り付けする。**

   注意：**ピストンロッドロックナットは再使用不可部品のため、再使用しないこと。**

3. **図のように、スプリングアッパーシートの「○」マークが車両外側となるようにセットする。**



4. **コイルスプリングがアッパー及びロアラバーシートに確実にセットされていることを確認し、徐々にスプリングコンプレッサー（汎用工具）を緩める。**

   注意：**アッパー及びロアシートがストラット、コイルスプリング及びスプリングアッパーシートに対してずれないようにセットされていることを確認すること。**

5. **ピストンロッドロックナットを規定トルクで締め付ける。**

6. **ストラットよりストラットアタッチメント（特殊工具）を取り外す。**

フロントパラレルリンク

PFP:55120

取り外し、取り付け

JES000JN

取り外し

1. タイヤを外し、車両をリフトアップする。
2. ABS 車輪回転センサーの配線を取り外す。
3. フロントパラレルリンク取付ボルト及びナットを外し、フロントパラレルリンクを車両より取り外す。

取り外し後の点検

- フロントパラレルリンクに変形、き裂、損傷等がある場合、又はブッシュに損傷等がある場合は、フロントパラレルリンク ASSY で交換する。

取り付け

- 各締付トルク等については「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

リヤパラレルリンク

PFP:55121

取り外し、取り付け

JES000JO

取り外し

1. タイヤを外し、車両をリフトアップする。
2. リヤパラレルリンク取付ボルト及びナットを外し、リヤパラレルリンクを車両より取り外す。

取り外し後の点検

- リヤパラレルリンクに変形、き裂、損傷等がある場合、又はブッシュに損傷等がある場合は、リヤパラレルリンク ASSY で交換する。

取り付け

- 各締付トルク等については「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り付けは取り外しの逆の手順で行う。
- サスペンションメンバー側取付ボルトはトーイン調整用のアジャストボルトのため、車両を接地させ空車状態で締め付けを行った後、必ずトーインの調整を行う。

  注意： アジャストボルトを調整する場合は、左右同量に行うこと。

ラジアスロッド

PFP:55110

取り外し、取り付け

JES000JP

取り外し

1. タイヤを外し、車両をリフトアップする。
2. ラジアスロッド取付ボルト及びナットを外し、ラジアスロッドを車両より取り外す。

取り外し後の点検

- ラジアスロッド及びブッシュに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

取り付け

- 各締付トルク等については「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

リヤサスペンションメンバー

PFP:54401

取り外し、取り付け

JES000JQ

取り外し

1. タイヤを外し、リフトアップする。
2. コッターピンを外し、ハブロックナットレンチ（特殊工具）を用いてハブロックナットを取り外す。（4WD 車）
3. ABS 車輪回転センサー及び配線を取り外す。
4. ブレーキキャリパー及びブレーキホースのロックプレートを取り外し吊るしておく。
5. ストラットのロア側取り付けボルト及びナットを取り外す。（4WD 車）
6. パラレルリンクのアクスル側取り付けボルトを外しリヤドライブシャフトをアクスルハウジングより取り外す。（4WD 車）
7. パラレルリンクのサスペンションメンバー側取付ボルト及びナットを外し、パラレルリンクをサスペンションメンバーより取り外す。
8. ストラットのロア取付ボルト及びナットを取り外す。

   注意： ドライブシャフトを取り外した後、アクスルハウジングをストラットに仮り付けすること。（4WD 車）
9. プロペラシャフトを取り外す。（4WD 車）
10. リヤエギゾーストチューブを取り外す。
11. 電制カップリングのコネクター及びエアブリーザーホースをリヤファイナルドライブよりを取り外す。（4WD 車）
12. ミッションジャッキをリヤファイナルドライブにセットする。（4WD 車）
13. リヤファイナルドライブのフロント取付ボルト及びリヤ取付ボルトを取り外す。（4WD 車）
14. リヤファイナルドライブをサスペンションメンバーより取り外す。（4WD 車）
15. リヤサスペンションメンバーにミッションジャッキをセットし、リヤサスペンションメンバー取付ナットを外し、ミッションジャッキをゆっくり下げて車両よりリヤサスペンションメンバーを取り外す。

取り付け

- 各締め付けトルク等については、「リヤサスペンション ASSY」「構成図」(RSU-4 ページ) を参照し、取り外しの逆の手順で行うこと。
- 作業終了後は、空車接地状態で各部の最終締め付けを行い、ホイールアライメントの点検を行う。

サービスデータ

PFP:00030

ホイールアライメント

JES000JR

キャンパー	− 0°40′ ± 45′
トーイン（mm）	イン 2 〜 0
サイドスリップ量（参考）（mm）	イン 5 〜アウト 5

締付トルク

JES000JS

単位：N·m {kg·m}

フロントパラレルリンク〜サスペンションメンバー	98 〜 118 {10.0 〜 12.0}
リヤパラレルリンク〜サスペンションメンバー	
ラジアスロッド〜アクスル及びボディー	
ピストンロッド〜ロックナット	59 〜 88 {6.0 〜 9.0}
アクスルハウジング〜ストラット	132 〜 165 {13.4 〜 16.9}
ストラット〜ボディー	50 〜 80 {5.1 〜 8.1}
スタビライザーコネクティングロッド〜スタビライザー	42 〜 47 {4.2 〜 4.8}
サスペンションメンバー〜スタビライザークランプ	32 〜 42 {3.2 〜 4.3}